

2024 年度

環境関連の活動とデータ（気候変動以外）

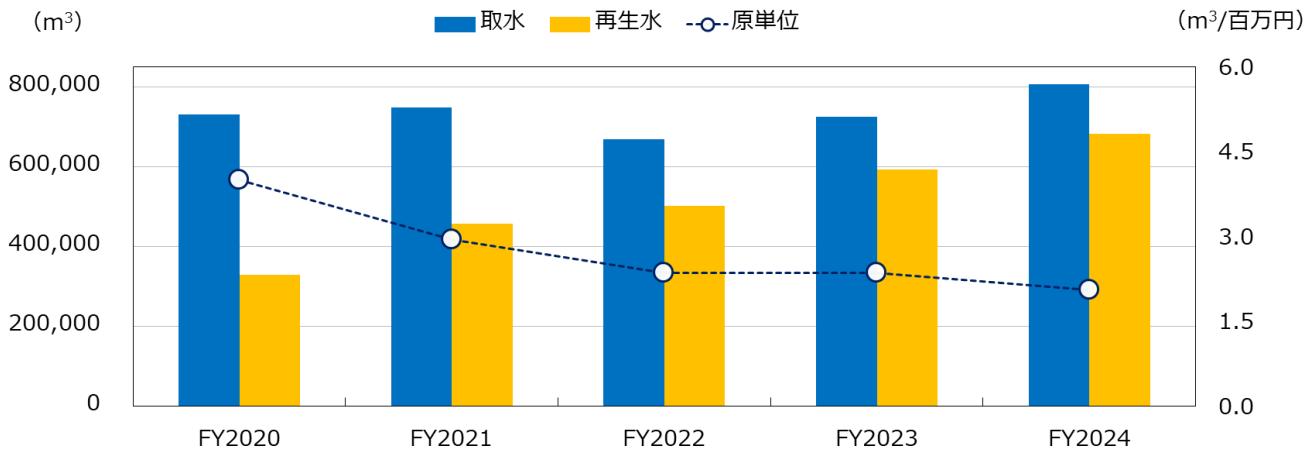
(2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日)

2026 年 1 月 28 日

## 環境データ

### 1. 取水量と排水量

ディスコグループ全体の取水量と再生水量及び取水量の売上原単位を示しています。水のリサイクルや節水活動に取り組んでおり、取水量の売上原単位が減少し、再生水量は増加している。



※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての連結子会社（ただし、取水量が著しく少ない連結子会社は除いています）

※2 再生水：排水処理設備で再生した水

※3 原単位：売上原単位（取水量（上水、工業用水、井戸水、雨水）を連結売上高で除したもの）

### 拠点別の取水量

		FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
国内	本社R&Dセンター、羽田R&Dセンター	200,193	188,595	199,769	218,215	225,812
	桑畠工場、吳工場	421,625	446,315	326,708	331,819	364,790
	茅野工場	15,767	10,121	13,726	25,013	26,955
	その他	1,422	1,874	2,199	3,964	3,132
	国内合計	639,007	646,905	542,402	579,011	620,689
海外	DISCO HI-TEC AMERICA, INC.	2,355	238	505	478	586
	DISCO HI-TEC EUROPE GmbH	79,203	89,094	103,189	113,567	126,030
	DISCO HI-TEC (SINGAPORE) PTE. LTD.	2,101	1,655	3,887	4,459	6,611
	DISCO HI-TEC CHINA CO., LTD.	4,029	5,159	6,080	5,937	6,574
	DISCO HI-TEC TAIWAN CO., LTD.	3,776	2,685	4,249	13,189	10,170
	DISCO HI-TEC KOREA Corporation	267	245	117	141	182
	DISCO HI-TEC (MALAYSIA) SDN. BHD.	—	7	235	296	315
	DISCO HI-TEC (THAILAND) CO., LTD.	—	1,062	5,525	6,171	7,568
	DISCO HI-TEC (VIETNAM) CO., LTD.	—	397	1,881	1,178	16
	海外合計	91,731	100,543	125,668	145,416	158,051
合計		730,738	747,448	668,070	724,427	778,740

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての連結子会社（ただし、取水量が著しく少ない連結子会社は除いています）

※2 拠点毎の上水、工業用水、井戸水、雨水の取水量の合計値を示しています。

## 水源別の取水量と排水量

		FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	(m <sup>3</sup> )
取水量	上水(水道水)	605,446	607,338	579,238	648,745	714,044	
	中水(工業用水)	118,935	128,198	72,281	61,140	64,696	
	河川、湖沼からの地表水	0	0	0	0	0	
	海水、海を取水源とする水	0	0	0	0	0	
	井戸水、掘削孔からの地下水	6,357	2,664	4,951	6,181	13,902	
	採石場で採取された水	0	0	0	0	0	
	外部排水	0	0	0	0	0	
	雨水	—	9,248	11,600	8,361	13,398	
排水量	総取水量	730,738	747,448	668,070	724,427	806,041	
	海洋	0	0	0	0	0	
	地表水(河川、湖沼)	781	927	1,200	1,010	459	
	井戸水、地下水	0	0	0	0	0	
	外部の水処理場(下水道)	729,924	719,342	640,379	690,637	765,901	
	第三者へ提供した水、その他	0	0	0	0	0	
	総排水量	730,705	720,269	641,579	691,647	766,360	
	再生水量	327,718	457,054	501,958	592,817	682,336	
リサイクル率(%)		31	38	43	45	46	
水ストレス地域における取水量		—	5,159	6,080	5,937	6,574	
取水量の売上原単位(m <sup>3</sup> /百万円)		4.00	2.95	2.35	2.36	2.05	

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての連結子会社（ただし、取水量が著しく少ない連結子会社は除いています）

※2 排水先は殆どが下水道ですが、一部の拠点では、生活排水を浄化槽で処理した水を河川放流しています。

※3 下水道への排水量は取水量から製品に含まれる水量と空調設備等での蒸発水量と河川放流水量を差し引いた値と定義しています。

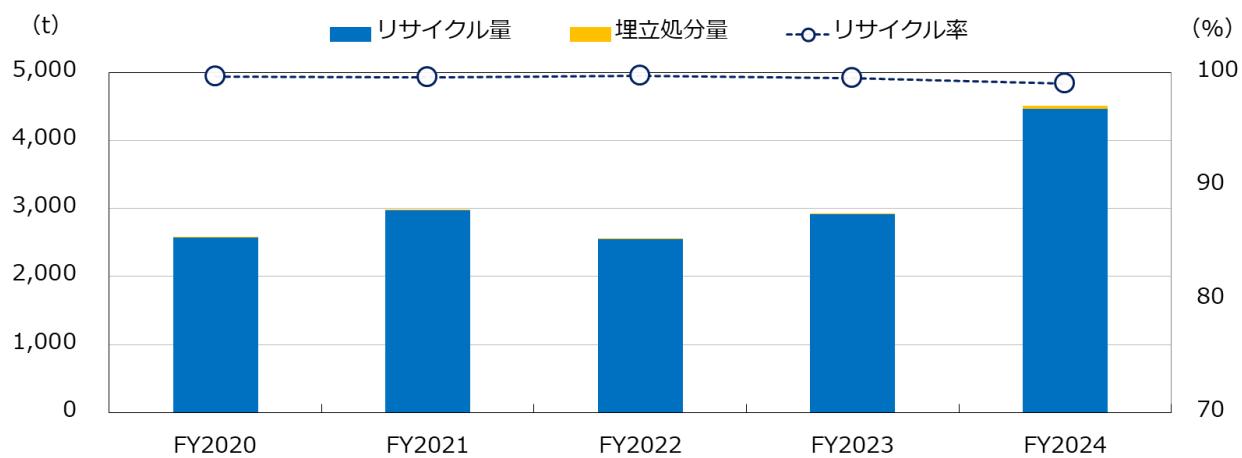
※4 水ストレス地域は世界資源研究所(WRI)が公表している Aqueduct Water Risk Atlas における Baseline Water Stress が「High」以上の地域と定義しています。

※5 リサイクル率：総水量(総取水量 + 再生水量)に対する再生水量の割合

※6 「-」はデータ未集計であることを示しています。

## 2. 廃棄物量

全ての生産拠点を含む日本国内での廃棄物量とそのリサイクル率の推移を示しています。廃棄物の減量やリサイクル活動に取り組んでおり、現状の廃棄物のリサイクル率は 99%以上を維持しています。



※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社（ただし、廃棄物量が著しく少ない連結子会社は除いています）

※2 リサイクル量：埋立処分以外の再生利用分の廃棄物

※3 リサイクル率：総廃棄物量に対するリサイクル量の割合

## 拠点別の総廃棄物量

	(t)				
	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
本社R&Dセンター, 羽田R&Dセンター	351	402	332	547	1,474
桑畠工場, 呉工場	2,080	2,407	2,037	2,125	2,667
茅野工場	—	—	174	247	363
その他の国内拠点	154	181	9	11	9
合計	2,585	2,990	2,552	2,930	4,514

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社（ただし、廃棄物量が著しく少ない連結子会社は除いています）

※2 2022年度以降、茅野工場をその他の国内拠点と分けて表記しています。

## 廃棄物の内訳とリサイクル率

	(t)				
	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
全体					
総廃棄物量	2,585	2,990	2,552	2,930	4,514
製造系廃棄物	2,080	2,407	2,211	2,372	3,030
非製造系廃棄物	505	583	341	558	1,483
総リサイクル量	2,576	2,978	2,545	2,915	4,471
総マテリアルリサイクル量	—	—	—	—	2,354
総リサイクル率(%)	99.7	99.6	99.7	99.5	99.1
総マテリアルリサイクル率(%)	—	—	—	—	52.1
埋立処分量	9	12	7	15	42
廃棄物量の売上原単位(t/百万円)	0.0141	0.0118	0.0090	0.0095	0.0115
有害廃棄物					
廃棄物量	173	242	162	247	417
リサイクル率(%)	—	—	—	—	98.0
焼却比率(%)	—	—	—	—	9.3
埋立比率(%)	—	—	—	—	2.0
非有害廃棄物					
廃棄物量	2,412	2,748	2,390	2,683	4,096
リサイクル率(%)	—	—	—	—	99.2
焼却比率(%)	—	—	—	—	31.8
埋立比率(%)	—	—	—	—	0.8
廃プラスチック					
廃棄物量	—	—	—	—	433
マテリアルリサイクル量	—	—	—	—	88
マテリアルリサイクル率(%)	—	—	—	—	20

※1 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社（ただし、廃棄物量が著しく少ない連結子会社は除いています）

※2 リサイクル率：廃棄物量に対するリサイクル量の割合

※3 有害廃棄物：日本の廃棄物処理法に基づく特別管理産業廃棄物

※4 マテリアルリサイクル量：再生原料として売却した量と廃棄物として中間処理後に再資源化された量の合計値

※5 製造系廃棄物：製造拠点から発生する廃棄物

※6 非製造系廃棄物：開発拠点および支店・営業所等から発生する廃棄物

### 3. 排水の水質管理

多くの水を使用する開発及び生産拠点では、事業活動に伴って排出される水を社内の廃水処理設備で浄化した後、下水道へ放流しているため、定期的に排水の水質を監視しています。

#### 水質測定結果

項目	下水道法の規制基準値	測定結果											
		本社・R&Dセンター			吳工場			桑畠工場			茅野工場		
		FY2022	FY2023	FY2024	FY2022	FY2023	FY2024	FY2022	FY2023	FY2024	FY2022	FY2023	FY2024
pH	5~9	7.8	7.1	7.2	7.7	7.5	7.2	6.7	7.4	7.2	8.5	7.5	8
BOD	600	65	96	49	16	20	14	42	21	9	86	228	200
浮遊物質量	600	121	244	66	165	253	259	71	180	54	128	118	95
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油類)	5	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	ND	ND	ND	ND	1	ND
n-ヘキサン抽出物質(動植物油類)	30	ND	ND	ND	1	1	1	2	1	1	9	9	7
カドミウム	0.03	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
シアン	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
鉛	0.1	ND	0.04	ND									
クロム	2	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND
六価クロム	0.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
砒素	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
銅	3	ND	0.4	0.1	0.02	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	ND
亜鉛	2	ND	0.1	0.1	0.2	ND	0.3	0.5	1.9	0.2	ND	ND	0.1
溶解性鉄	10	ND	ND	ND	ND	1	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND
溶解性マンガン	10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
弗素化合物	15	ND	ND	ND	0.4	3.0	2.0	2.1	2.5	3.0	ND	ND	ND
ほう素	230	ND	ND	ND	6	8	4	11	17	11	ND	ND	0.1
全窒素	150	13	14	10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	38	49	42
沃素消費量	220	6	19	9	ND								

※1 集計範囲：下水道法に基づいて水質測定を行っている拠点（本社・R&Dセンター、茅野工場、吳工場、桑畠工場）

※2 単位はpHを除き、[mg/L]となります。

※3 NDは定量下限未満又は含有が無く測定対象外の項目を示しています。

※4 年間に複数回の水質測定を行っている場合はその平均値を記載しています。

#### 水関連の支出額（2024年度）

支出額		(百万円)
水関連の投資額(CAPEX)		343
水関連の維持管理費(OPEX)		78
水関連の研究開発費		230

※1 水関連の投資額(CAPEX)：水の浄化やリサイクルなどを目的とした設備投資費と定義

※2 水関連の維持管理費(OPEX)：社内の廃水処理設備の操業費及び水関連の分析費と廃棄物処分費と定義

※3 水関連の研究開発費：水関連のリスクを抑制するための研究開発費と定義

### 4. 環境法の遵守状況（2024年度）

下水排水に含まれる浮遊物質濃度に関する法基準超過が1件ありました。下水処理場や周辺環境への影響はありませんでしたが、ろ過処理設備の導入などの対策を行い、下水排水の水質を改善しました。結果、現状は法基準に対して十分に低く抑えられています。

環境法の遵守状況		
大気関連	法令違反件数	0
	罰金額(百万円)	0
水質関連	法令違反件数	1
	罰金額(百万円)	0
騒音・振動関連	法令違反件数	0
	罰金額(百万円)	0
悪臭関連	法令違反件数	0
	罰金額(百万円)	0
土壌関連	法令違反件数	0
	罰金額(百万円)	0

※ 集計範囲：株式会社ディスコ及びすべての国内連結子会社

## 5. 環境マネジメントシステム ISO14001 認証状況（2024 年度）

区分	取得数	認証取得率
ディスコの生産拠点	3	75%
ディスコの非生産拠点	3	38%
サプライヤー	176	55%

※1 集計範囲：生産拠点(4 拠点)、小規模な営業拠点を除くその他の非生産拠点(8 拠点)、及びディスコ製品の製造に関わる調達額の 99%以上を占めるサプライヤー（320 社）

※2 生産拠点では、吳工場・桑畠工場・茅野工場の 3 拠点が認証を取得しています。

※3 非生産拠点では、DISCO HI-TEC(SINGAPORE)PTE.LTD.、DISCO HI-TEC EUROPE GmbH、DISCO HI-TEC CHINA CO.,LTD が認証を取得しています。

※4 サプライヤーの取得数はアンケート調査を行って確認しています。

## 活動

### 1. 廃棄物の削減とマテリアルリサイクルの推進

ディスコではサーキュラーエコノミーの実現に向けて、廃棄物の削減及びマテリアルリサイクルに積極的に取り組んでいます。現在、国内のすべての拠点において廃棄物計量システムを導入して廃棄物の計量管理を実施しています。これにより、各拠点・各部署ごとの廃棄物量を把握し、減量と分別を徹底することで、資源の有効活用に努めています。

近年は特に廃プラスチックに着目し、分別を徹底するとともに、サプライヤーと協働して、部品納入時の梱包材の削減や脱プラスチックに取り組んでいます。こうした活動は、GHG 排出量（Scope3）の削減にも貢献しています。

### 2. 水資源の有効活用

ディスコの生産及び開発拠点では、多くの水を使用するため、全ての工場及び本社・R & D センターなどの水の使用量が多い拠点では、排水を処理して再利用するリサイクル設備を導入し、上水の取水量を削減しています。さらに、テストカットサービスなどで比較的多くの水を使用する営業拠点(アメリカ、中国、ドイツ、大阪など)についてもリサイクル設備を導入し、節水を図っています。なお、国内外の拠点の水ストレスについて、Aqueduct Water Risk Atlas(世界資源研究所が公表している水リスク評価ツール)を使って評価した結果、中国の 1 拠点のみが水ストレス地域に該当していますが、前述のような対策により、現在まで渇水などの水リスクに晒されたことはありません。

また、断水は事業継続におけるリスクであるため、上記のようなリサイクル設備の導入に加えて、桑畠工場では地下貯水槽を設置し、断水時でも生産を約 10 日間継続可能な体制を構築しています。さらに、井戸水の供給ラインを構築し断水リスクに備えています。

その他、全社対象の目標管理活動の一環として、毎年、経費削減活動に取り組んでおり、その達成度合いは賞与にも反映されますが、この活動の中で水道光熱費の削減に対して大きな重み付けをすることで、水やエネルギーの削減活動を活性化しています。

これらの取り組みの結果、環境情報の開示における国際的な非営利団体 CDP から「水セキュリティ」の分野において、最高評価の A リスト企業に認定されました。



※CDP は環境情報開示のための世界的なシステムを運営する非営利団体で、毎年の環境情報開示とその評価プロセスは、グローバルスタンダードとして広く認知されています。企業が開示した情報に対して、「気候変動」、「水セキュリティ」、「フォレスト」の分野で、A から D –までの 8 段階で評価し、特に優れた企業を「A リスト」として認定しています。2024 年は、24,000 社を超える企業のうち、515 社（上位 2 %）がいずれかの分野で A リストに認定されています。

### 3. 緑地保全活動と緑の認定

ディスコでは環境方針の一環として生産拠点の緑化を進めています。地域の自然環境との一層の調和を目指し、グリーンクラブ（百数十名で活動）を中心にして、生物多様性を保つ緑地の保全活動を行っています。この活動が認められ、桑畠工場と茅野工場は SEGES 認定（そだてる緑）を取得しています。また、自社の緑地だけではなく、広島県や呉市などの自治体と共に毎年地域の森林整備や植樹といった保全活動も行っています。こうした継続的な緑化活動や地元の里山保全活動を通じた地域貢献等が評価され、2020 年度には桑畠工場が「みどりの社会貢献賞」を受賞しました。



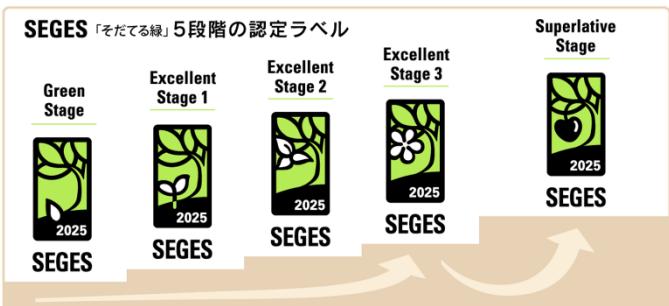
豊富な緑地に囲まれた桑畠工場



地元の里山での森林整備と植樹活動

#### ※SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム）

SEGES は企業等によって創出された良好な緑地と日頃の取り組みを評価し、社会・環境に貢献する良好に維持された緑地であることを認定する制度です。SEGES 認定には 5 段階あり、現在は桑畠工場にて「Excellent Stage 3」を、茅野工場では「Excellent Stage 2」を取得しており、今後の更なるステージアップを目指しています。



出典：SEGES Web サイトより「そだてる緑」5 段階の認定ラベル <https://seges.jp/schema.html>



Excellent Stage3 認定証(桑畠工場)



みどりの社会貢献賞